

## 5 各教科等の「指導の重点」

各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間は、学校の教育目標に照らして、児童にどのような資質や能力を身に付けさせるかを示すものである。

### 国語科の指導の重点

- 自分の考えを相手に分かりやすく伝えるため、表現を工夫して書いたり、話したりする児童の育成
- 説明文から筆者の主張と根拠を関連付けて読み取ったことをもとに、書いたり話したりして考えを確かにする児童の育成
- 物語文で、根拠となる言葉を指摘し、登場人物の気持ちや情景について読み取ったことをもとに、書いたり話したりして考えを確かにする児童の育成

#### 【学年目標】

第1学年	書くことを楽しみ、書くことに親しみながら、語や文の続き方に注意して文や文章を書き、話すことができる。
第2学年	経験したことや想像したことなどについて、語や文の続き方に注意して、順序が分かるように文や文章を書き、話すことができる。
第3学年	相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落を考えて文章を書いたり、筋道を立てて話したりすることができる。
第4学年	相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書いたり、筋道を立てて話したりすることができる。
第5学年	目的や意図に応じ、考えたことなどを筋道を立てて文章に書いたり、話の組立て工夫しながら話したりすることができる。
第6学年	事象と感想や意見の関係をおさえて、自分の考えを明確にしながら効果的に文章に書いたり、計画的に話し合ったりすることができる。

### 社会科の指導の重点

身の周りにある社会的事象に目を向ける児童の育成  
見学や観察を行ったり資料を用いたりして、自分の課題を追究する児童の育成  
分かったことを進んで他の人たちに知らせる児童の育成

#### 【学年目標】

第3学年	地域における社会的事象を具体的に観察したり、具体的資料を活用したりして、生活と関連づけた自分なりの考えをもち、地域社会の特色をとらえたり表現したりすることができる。
第4学年	地域における社会的事象を具体的に観察したり、具体的資料を活用したりして、自分の考えと友達の考えを比較しながら、地域社会の特色や相互の関連を考え、表現することができる。
第5学年	体験的な活動や地図・統計などの基礎的資料を活用して調べ、社会的事象の意味を理解し、自分なりの方法で表現することができる。
第6学年	体験的な活動や地図・年表などの基礎的資料の活用を通して社会的事象を具体的に調べ、より広い視野から考えをまとめて表現することができる。

## 算数科の指導の重点

- 課題に対して、意欲をもって取り組む児童の育成
- 根拠や理由を明らかにして、筋道立てて考える児童の育成
- 絵や図、言葉、式を関連づけながら、自分の考えを筋道立てて表現する児童の育成

### 【学年目標】

第1学年	具体物を用いた活動などを通して、加法及び減法の意味について理解し、計算が確実にできる。
第2学年	具体物を用いた活動などを通して、加法減法の意味について理解を深め、計算が確実にできる。乗法の意味について理解し、計算が確実にできる。
第3学年	乗法についての理解を深め、計算が確実にできる。除法の意味について理解し、計算が確実にできる。
第4学年	除法についての理解を深め、計算が確実にできる。小数・分数の意味について理解し、小数の加法減法の計算が確実にできる。
第5学年	小数分数の意味について理解を深める。小数の乗除法、分数の加法減法の意味を理解し、計算が確実にできる。
第6学年	分数の加法減法について理解を深め、計算が確実にできる。分数の乗除法の意味について理解し、計算が確実にできる。

## 理科の指導の重点

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な自然の事物・現象について興味・関心を高める児童の育成  
見通しをもって観察・実験などに取り組み、問題を解決することができる児童の育成  
互いのよさを認め合いながら、自然の性質や規則性を追究していく児童の育成

### 【学年目標】

第3学年	生き物を育てたり身近な自然の現象を調べたりすることを通して、差異点や共通点を進んで見つけようとするすることができる。
第4学年	生き物の成長や身近な物の変化をその要因と関係付けながら調べ、これらの性質や働きなどを進んで見つけようとするすることができる。
第5学年	身近な自然の事物・現象をそれらにかかわる条件に着目しながら計画的に調べ、変化の規則性や生命の連続性を進んで見つけようとするすることができる。
第6学年	身近な自然の事物・現象の変化や働きをその要因や規則性、関係を推論しながら調べ、その相互関係や規則性を進んで見つけようとするすることができる。

## 生活科の指導の重点

具体的な活動や体験を通して、自分と身近な人々や自然などのかかわりに興味・関心を高める児童の育成  
身近な人々や自然と直接かかわり合う中で、自分自身や自分の生活について考えることができる児童の育成  
友達のよさに気づき、認め合い、助け合える児童の育成

### 【学年目標】

低学年	身近にある自然や人，社会とのかかわりに関心を持ち，自分たちの遊びや生活を工夫したり，社会の一員として適切に行動したりすることができる。
-----	---

## 音楽科の指導の重点

音楽の楽しさを味わい，進んで表現しようとする児童の育成  
音楽活動に必要な基礎的な能力を身に付け，自分の音楽的な思いや願いを表現できる児童の育成

### 【学年目標】

低学年	楽しい音楽活動を通して，基礎的な表現の能力を身に付け，リズムや拍の流れに合わせて表現する楽しさを味わうことができる。
中学年	進んで音楽にかかわり，基礎的な表現の能力を伸ばし，自分の思いや願いを表現する楽しさを味わうことができる。
高学年	創造的に音楽にかかわり，基礎的な表現の能力を高め，曲想に基づいた自分の思いや願いを表現する喜びを味わうことができる。

## 図画工作科の指導の重点

自分の思いをふくらませ，表現する喜びを味わうことができる児童の育成  
創造活動の基礎的な能力を身に付け，楽しみながら表現することのできる児童の育成  
自分なりに工夫した作品を発表するとともに，友達の作品の工夫を見付け，取り入れようとする児童の育成

### 【学年目標】

低学年	身近な材料をもとに自分なりのイメージをふくらませ，造形活動を楽しむことができる。
中学年	見たことや想像したことをもとにイメージをふくらませ，表すものの感じに合わせた形や色を工夫して表現することができる。
高学年	様々な表し方や見方に触れ，主題がよく表れるように構成を工夫して表現することができる。

## 家庭科の指導の重点

家庭生活に関心をもつ児童の育成  
生活を工夫したり、問題を解決したりしながら学んだことを実践する児童の育成  
よりよい生活の喜びを味わう児童の育成

### 【学年目標】

高学年	衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的活動を通して、家庭生活を支えているものが分かり、家庭生活の大切に気付くことができる。 製作や調理など日常生活に必要な基礎的な技術を身に付け、自分の身の回りの生活に活用できる。 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとするすることができる。
-----	---

## 体育科の指導の重点

めあてをもって意欲的に運動や学習に取り組む児童の育成  
運動の楽しさの経験を広げ、深めようとする児童の育成  
互いに励まし合って運動に取り組む児童の育成

### 【学年目標】

低学年	友達と仲良く元気いっぱい運動することができる。
中学年	めあてに向かって進んで運動することができる。
高学年	めあてに向かって運動の仕方を工夫しながら取り組むことができる。

## 道徳の指導の重点

自分の心を見つめ、生活の中から問題をつかむ児童の育成  
体験活動から考えを深め、感動できる児童の育成  
共に学ぶ楽しさの中で相手を思いやり、自他のよさに気付く児童の育成

### 【学年目標】

低学年	身近にいる家族や学級の友達に温かい心で接し、親切にすることができる。
中学年	学年の友達や地域のことを思いやり、親切にすることができる。
高学年	高齢者や障害者など誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすることができる。

## 外国語活動の指導の重点

- 外国語を通じて、言語や文化について理解を深めようとする児童の育成
- 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成
- 外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむ児童の育成

### 【学年目標】

高学年	外国語を用いて、教師やALT、友達と積極的にコミュニケーションを図ることができる。
-----	---

## 総合的な学習の時間の指導の重点

自分を育む村上の自然・歴史・文化・人々の思いに興味・関心を抱く児童の育成  
主体的に情報を集めたり、体験したりしながら、学び方や考え方を身に付けていく児童の育成  
体験的活動を通して得た情報を発表したり、発信したりすることを通して、互いのよさに気づき、自分に自信をもつ児童の育成

### 【学年目標】

第3学年	郷土の文化に触れることを通して、自分の調べたいことを見付け、その解決方法を身に付けていくことができる。
第4学年	郷土の自然や文化などから、自分の課題を見付け、調べ方や表現の仕方を自分で考え、実行することができる。
第5学年	郷土社会に目を向け、自分の課題を解決し、表現する過程で自他のよさを認め合うことができる。
第6学年	自分を取り巻く環境に目を向け、課題を解決したり表現したりする中で、自他の感じ方を認め合い、互いを尊重することができる。

## 特別活動の指導の重点

学校生活を見直し、よりよい学校にしていきたいという願いをもつことのできる児童の育成  
願いの実現のため、みんなで相談したり、活動を工夫したりすることのできる児童の育成  
互いのよさや協力することの大切さを認め合うことのできる児童の育成

### 【学年目標】

低学年	友達の意見を聞き、仲良く力を合わせて活動することができる。
中学年	みんなと協力していく中で、自分の力や個性を發揮することができる。
高学年	よいよい学級、学校づくりのために問題を見だし、アイデアを出し合い、解決していくことができる。